

令和元年度 活動報告について (男女共同参画室主要事業)

■基本目標Ⅰ 男女の人権が尊重される視点を育む環境づくり

○女性委員不在の審議会等の解消、あて職の見直しと公募の拡大

かまいし男女共同参画推進プラン 2019 の目標の対象である審議会等（市の条例、規則、要綱に基づく審議会等）における平成 31 年 4 月 1 日現在の女性登用状況は、審議会数が 51（平成 30 年度 54）のうち女性委員のいる審議会等数が 48（平成 30 年度 50）女性委員のいる審議会等の割合は 94.1%（平成 30 年度 92.6%）となり、女性委員不在の審議会等数は 1 減り、3（30 年度 4）となった。女性委員の比率は 42.7%（平成 30 年度 42.8%）となり、ほぼ変化がなかった。

釜石市各種審議会等の女性登用状況

項目	平成 31 年 4 月 1 日 現在 ①	平成 30 年 4 月 1 日 現在 ②	差①-②
審議会等数	51	54	△3
うち女性委員のいる審議会等数	48	50	△2
女性委員不在の審議会等数	3	4	△1
延総委員等数	527	586	△59
延女性委員等数	225	251	△26
女性委員等比率 (%)	42.7	42.8	△0.1

■基本目標Ⅱ 多様な視点・意見を取り入れた防災やまちづくりへの男女共同参画の推進

○男女共同参画サポーターの養成

県では、男女共同参画に興味・関心があり、男女共同参画の推進活動に意欲のある方を「男女共同参画サポーター（岩手県知事認定）」として養成し、県内各地域における男女共同参画に向けた気運の醸成と活動の促進を図ることとしている。当市では、これまで 32 名が認定されており、今年度さらに 4 名が認定され、36 名となった。

○市民との協働活動の実施

男女共同参画サポーター認定者と男女共同参画に関心がある方で構成される「GEN・Kせんにんのつどい」の活動として、女性に対する暴力防止啓発活動を行った。

◇実施内容：女性に対する暴力防止啓発活動

11 月 6 日(水) 14:00~16:00 カリタス釜石

啓発配布物品作成 7 名

11 月 24 日(日) 11:00~12:00 イオンタウン釜石入口周辺

啓発活動 参加者 10 名

■基本目標Ⅲ 性別、年齢、環境に左右されず能力を発揮し、 多様な生き方を安心して選択できる環境の整備

○女性活躍推進セミナー

女性が活躍するためには、性別による固定的な役割分担意識を変革し、男女が平等であることを実感できる社会を目指すとともに、女性が能力を発揮するためのキャリア形成や女性リーダー育成等に向けて取り組むことが必要となる。主体的に活動し、地域のリーダーとなり得る女性の人材育成に取り組むことで女性の社会参画の促進を図ることを目的として、認定NPO法人カリタス釜石との共催で女性活躍推進セミナーを開催した。

◇実施内容

演 題：男は仕事、女は家事に育児に介護と仕事も！？

— 性別役割分担のリアル —

講 師：岩手大学 准教授 堀 久美 氏

開催日時：令和元年 7 月 28 日（日）13：00～15：00

会 場：青葉ビル 研修室

受 講 者：31 名

○子育て応援企業認定制度の活用

子ども課・商業観光課と連携し、仕事と子育ての両立支援や男女が共に働きやすい環境の整備、仕事と生活の調和推進に関する取組を進める企業を増やし、当該企業が社会的に評価される仕組みをつくることにより、企業の自主的な取組を促し、子育てを社会全体で応援するという社会的素地の構築を目指す。今年度は、認定企業がPR等に利用できる子育て応援企業認定マークを制定した。

■基本目標Ⅳ 女性の一生涯の健康と安全の支援

○DVや配偶者暴力防止についての啓発活動

女性に対する暴力をなくす運動期間【毎年11月12日～11月25日までの2週間】である、令和元年11月11日から15日まで、NPO法人カリタス釜石との共催、岩手県沿岸広域振興局の後援で、釜石市民ホール ギャラリーにて、女性に対する暴力防止パネル展を開催した。今年度はDVと児童虐待をテーマにオレンジリボンも併せて展示した。また、令和元年11月24日（日）のパープルセミナーに併せ、市民ホール周辺とイオンタウン釜石入口において、女性や子どもに対する暴力の根絶に関する啓発活動としてDVに関する相談窓口周知チラシや啓発グッズを配布した。また、女性に対する暴力をなくす運動期間中、釜石市民ホールのパープルライトアップを行った。

○NPOとの連携によるパープルセミナーの開催

男女間のあらゆる暴力の根絶を目指す具体的な施策（女性に対するあらゆる暴力を容認しない社会的認識の徹底等）を図るため、NPO法人カリタス釜石との共催、岩手県沿岸広域振興局の後援でパープルセミナーを開催した。DVが起きている家庭で

は、子どもに対する暴力が同時に行われている場合があることから、今年度はDVと児童虐待をテーマに取り上げ、岩手県内のDVや虐待の現状、DVに関する基礎知識のほか、暴力がもたらす影響など、専門的な知識について学んだ。

◇実施内容

演 題 ①岩手県におけるDV・虐待の現状
②DVや家庭内での暴力がもたらす影響
講 師 ①岩手県警察本部生活安全企画課子ども・女性安全対策補佐
中村 亜貴子 氏
②NPO 法人レジリエンス 中島 幸子 氏
開催日時：令和元年 11 月 24 日（日）14：00～16：00
会 場：釜石市民ホール ホール B
受 講 者：48 名

○デートDV 予防啓発事業

子どもが暴力被害者となることを防ぐとともに、将来暴力の加害者になることを防ぐため、また、若い世代間の交際相手からのDVという問題が社会問題としても取り上げられるようになってきていることから、若年層に対する予防教育・周知啓発の促進を図った。交際相手だけでなく、友人、先輩・後輩等の関係において、お互いを尊重しあえるコミュニケーションについて学び、コミュニケーションの取り方がデートDVの予防となることも学んだ。

◇実施内容

演 題：「お互いを尊重しあえるために」
講 師：岩手県 BBS 連盟・BLT いわて
開催日時：9 月 17 日(水)14：35～15：25
受 講 者：甲子中学校 3 年生 48 名 教職員 6 名

○思春期講演会

思春期にある中学生を対象に、人権と個人を尊重する教育を実施するものとし「性」を人権の問題、人間の生き方に関わる問題として捉えることができ、自己管理・自己決定できる人間に育つことを目的に講演会を開催。

◇実施内容

演 題：「思春期の心とからだ」について
講 師：岩手県立大船渡病院統括副院長兼医療研修科長兼周産期医療科長
兼地域医療福祉連携室長兼総合支援センター長 小笠原 敏浩 氏
開催日時：11 月 11 日（月）13：40～14：40
受 講 者：大平中学校 全校生徒 92 名 教職員 5 名